

三菱自動車、日産向け OEM 供給車両『ローグ プラグインハイブリッド』 『ナバラ』の生産を開始

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、代表執行役社長兼最高経営責任者：イヴァン エスピノーサ、以下日産）の北米向け『ローグ プラグインハイブリッド』を、1月12日より岡崎製作所（愛知県岡崎市）で生産を開始しました。

また、オセアニア向け『ナバラ』を2025年12月20日よりミツビシ・モーターズ・タイランド（MMTh）のレムチャバン工場で生産を開始しました。日産にOEM供給される2車種のうち、『ローグ プラグインハイブリッド』は2026年第1四半期より北米で、『ナバラ』は2026年第1四半期末頃よりオセアニア地域で、それぞれ販売を開始する予定です。

アライアンスパートナーである日産とは、グローバルにおいて次世代ピックアップの共同開発や生産、電動車協業・事業拡大の検討を進めています。その一環として、今回の北米における『ローグ プラグインハイブリッド』やオセアニア向け『ナバラ』の供給が実現しました。これらの取り組みにより、日産はモデルラインアップを補完し、当社は工場稼働率の向上を図るなど、双方にとって意義のある関係を構築します。また、当社は2026年に日産より新型『リーフ』派生の電気自動車のOEM供給を受け、2026年後半に北米市場へ投入します。

三菱自動車は今後もさまざまなパートナーシップを通じ、商品ラインアップの拡充、各地域事業の強化及び収益化に向け、順次取り組みを加速していきます。

以上